



## 大野小学校3年生が多摩美術大学と連携して 廃材アートを作成します

大野小学校の3年生が多摩美術大学と連携し、地域のフォトスポット設置に向けて廃材アートを作成します。デザインの力を通じて廃棄物の発生抑制やサーキュラーエコノミー（循環経済）に向けた取組を行っている多摩美術大学の協力のもと、小学生が海の生き物の絵を描き、不要となったアクリルパーテーションを用いた作品を作ることで、資源循環の重要性、海洋プラスチック問題等について考えます。

完成した作品は、大野中まちづくりセンター内に展示します。

1 日 時 令和6年9月24日（火）13時50分～15時30分

2 場 所 相模原市立大野小学校（相模原市南区古淵3丁目21-2）

3 参加児童 3年生（100人程度）

### 4 内 容

13時50分～14時00分 講義（本日の流れ・今回の事業の意義について）

14時00分～15時30分 アクリルパーテーションへの描写、色入れ

### 5 これまでの経過、取組内容

地域の憩いの場となるフォトスポットの設置を検討していた大野中まちづくりセンターが、SDGsに関する学習をしている大野小学校、サーキュラーエコノミーに向けた取組を行っている多摩美術大学、さがみはら SDGsパートナー（コロナ禍後不要となったアクリルパーテーションを提供）の3者に協力を仰ぎ授業が実現。

9月3日（火）に1回目の授業を行い、多摩美術大学の教授、学生等の指導のもと、児童が紙に海の生き物を描きました。

その後、多摩美術大学において、アクリルパーテーションを児童が描いた絵の形に切り出し、24日（火）にカットされたアクリルパーテーションへの色入れ等を行います。

完成した作品は、後日、大野中まちづくりセンター内に地域のフォトスポットとして展示します。

6 取材について 9月19日（木）17時まで大野中まちづくりセンターへご連絡ください。



### 問合せ先

大野中まちづくりセンター

直通電話 042-742-2226

みんなのSDGs推進課

直通電話 042-769-9224